サニタクリーン シリーズ　環境・アウトドア商品ライナップ

携帯トイレ

ECOサニタクリーン携帯トイレ

品番:DG-142
オープン価格
団体登山等でのスペア袋や、プラゴミ削減への取組みに。
※販売:1ケース(200枚)単位

携帯トイレ ローザ・アルム

Rosa(ローザ)　Alm(アルム)

品番 Rosa(ローザ): DG-173 / Alm(アルム) :DG-174
オープン価格
セット内容　・ECOサニタクリーン携帯トイレ:1枚
・高密閉チャック袋:1枚 ・水溶性ポケットティッシュ:1個

携帯トイレセット

品番:DG-171　1,320円(税抜1,200円)
セット内容
・ECOサニタクリーン携帯トイレ:4枚 ・高密閉チャック袋:2枚
<株式会社ハイマウントとの共同開発品〉

チャック袋

高密閉チャック袋

品番:BS-153　オープン価格
使用済携帯トイレ3枚分の収納力、Wチャックで
密閉度も高く色々な用途袋としても。
※販売:1ケース(500枚)単位

トイレ関連

折畳便器

品番:BS-144
18,480円(税抜16,800円)
組立サイズ:幅360×奥行410×高さ415㎜
耐荷重:252kg

水溶性ポケットテッシュ

品番:BP-005
オープン価格
セット内容　・メルティティッシュ:10組
※水解性の生分解性包装資材と水解性ティッシュ原紙使用

衛生関連用品

からだふき ボディータオル

品番:BW-580
825円 (税抜750円)
セット内容
・大判ウェットタオル(300×600mm):12枚
※無香料・無着色・ノンアルコール

折りたたみバケツ アクアトランス

品番:DG-554
770円(税抜700円)
セット内容 ・アクアトランス:1枚(容量:5ℓ)
※食品衛生法に適合
<株式会社ハイマウントとの共同開発品〉

その他

クイックシュラフ

品番:BS-560
2,904円 (税抜2,640円)
セット内容
・クイックシュラフ(1,050×2,000㎜):1枚
※多層構造シート(アルミ蒸着) ・収納ポーチ1枚

クインキーパーIII型

品番:PH-703
77,880円(税抜70,800円)
材質:18-8ステンレス(SUS-304)
耐荷重9.16KN(約930Kgf)
ロール入数:5個

株式会社 総合サービス
SINCE1982
内閣官房 日本トイレ大賞 受賞
0120-980-329
受付時間／9:30～17:00(平日)
HP-URL　https://sservice.co.jp
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-14-5

20230302000

サニタクリーン
1982年からの信頼と実績

サニタクリーンシリーズ

環境・アウトドア用品カタログ

日本の豊かな自然環境を守り
次世代に引き継ぐために

protect nature in japan

屋久島ウィルソン株のハートマーク

株式会社 総合サービス
SINCE1982
内閣官房 日本トイレ大賞 受賞

国立公園
オフィシャルパートナー

フィールドを ご利用の皆様

登山・トレッキング・カヤック等の
フィールドにはトイレがほとんどありません!

フィールド内は、基本的に電気や水道を引きこむようなインフラ整備が難しい事や、豊かな自然環境を守る観点から、景観も守る必要もあるため、トイレ整備も難しいのが現状です。
その為、自然現象であるのにも関わらず、トイレ環境もあまりされていないのも事実です。

野外に残されたティッシュの山

我慢できずに野外でお花摘みやキジ撃ちを行うと景観を害します。
また、その残骸の回収している方々もいらっしゃいます。

混雑する富士山の下山道7合目のトイレ=環境省提供

スタート地点のトイレ行列
(オーバーユース問題)

トイレを事前に済ましておきたくても、スタート地点のトイレ行列をみて、時間もなく諦めてしまう方も中にはいるでしょう。
また、トイレを事前に済ましていても、道半ば、どうしても自然現象からは逃げられない状況も考えられます。

フィールドを 守る皆様

フィールド内の、トイレ環境を整えませんか?

登山道以外への立ち寄りによる希少な高原植物の踏み荒らしや、悪臭が問題視されています。

国立公園や国定公園内では、このような悪循環を解消させるためにも、携帯トイレの活用を促進しています。

「携帯トイレ ネットワーク」を広げましょう。

「携帯トイレ」を活用し運用していくには、フィールドに携わる方々の意識改革が必要です。
フィールドの環境保全の為にも、「携帯トイレネットワーク」の導入を検討しませんか?

この壮大な環境を守り、次世代まで引き継ぐ為に、皆様のご協力 が必要です!

日本の「水」はとてもきれいで、湧き水を飲むことを楽しみにしている方も多いかと思います。自然の中でトイレをしてしまうと、湧き水の汚染にも繋がります。世界でも有数の日本の「きれいな水」を守るためにも、排泄物の持ち帰り運動にご協力をお願い致します。

ECOサニタクリーン 携帯トイレ

5つの特徴

特徴1 「業界初」製品に、植物由来バイオマスプラ採用

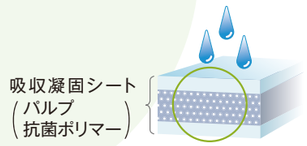
※弊社調べ　2014年4月生産品から採用

バイオマス No.140002

サトウキビから作った「バイオマスポリエチレン」を30%配合しています。
焼却処分した時に出るCO2はバイオマス原料の割合に応じ、地球温暖化ガスとしてカウントされません。

特徴2 優れた機能

・大人1～3回分の吸水力
・抗菌効果でにおい対策ができます。



特徴3 開くだけで使えるシンプル構造

山の中で使う場合、複雑な構造は使い勝手を悪くします。
袋と吸収凝固シートが一体化されているので、
開くだけで使えます。

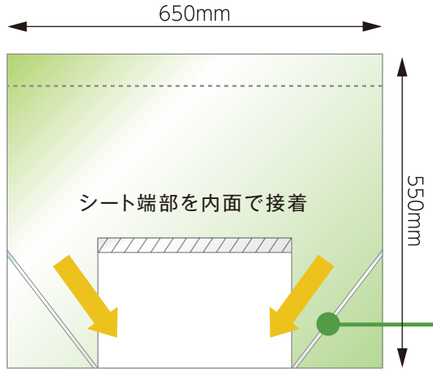
特徴4 持ち帰りの臭いをシャットアウト

便袋を使用した際、一番気になるのは臭気の問題。
ECOサニタクリーン携帯トイレ（便袋）は完全密封の高密閉チャック袋を付属。
安心してお持ち帰りいただけます。

特徴5 8ヶ国語で表記

袋に使用方法がイラストと8ヶ国語で表記されておりますので、外国の方にも分かりやすくなっております。

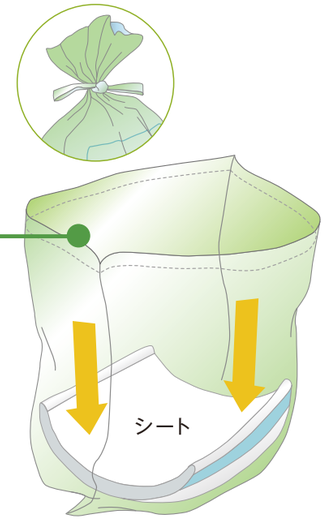
袋の構造



ヒートシール加工（尿だまり防止）

結びヒモ切り取り線

袋の上部を切り取るとヒモ状（結びヒモ）になるので、使用後の袋の口をしばることができます。



使い方

携帯トイレは、フィールド内の「トイレブース」を活用し「回収BOX」に捨てましょう。

携帯トイレの使用は、必ずトイレブースを利用ください。

携帯トイレを推奨する国立・国定公園には、
フィールド内に、携帯トイレブースが設置されています。

国立・国定公園で、携帯トイレを使用する場合、
「携帯トイレブース」の活用を促しています。

ご使用後の携帯トイレは、登山道口や、山小屋近辺にある「携帯トイレ回収BOX」に捨てましょう。

※地域により異なります。

≪注意≫ 利用者のマナーとして、携帯トイレ回収BOXに、
携帯トイレ以外のゴミを捨てるのはやめましょう!

携帯トイレ導入実績

北海道
大雪山国立公園

携帯トイレ普及宣言

1.大雪山国立公園では、携帯トイレを適切に使用することで雄大で原始的な景観と共存する登山を推進します。

2. 登山者に快く携帯トイレを使ってもらえるような環境づくりを行います。

3. 登山者に対して携帯トイレの利用を推進するための呼びかけを行います。

4.携帯トイレの普及に協力してくれる人の輪を広げます。

※2017年より、大雪山国立公園
オリジナル携帯トイレを現地にて発売。

美瑛富士　携帯ブース

トムラウシ南沼　携帯ブース

携帯トイレ　回収BOX

携帯トイレ普及宣言を行うまで…

美瑛富士ではトイレ設備がなく、ティッシュが残置され溶けないままあちこちに点在し、さらに、お花畑を踏みつけ四方八方にトイレ道が続いていました。
そこで、山のトイレを考える会が2004年頃から美瑛富士でし尿・ティッシュの清掃をはじめ、それ以降も地道な活動を続け、2015年には北海道内の山岳関係9団体による「美瑛富士トイレ管理連絡会」を設立。活動は現在に至る。

鹿児島県
屋久島国立公園

1993年12月世界自然遺産登録もあり、入込客数は増加を続け、2007年には過去最高の40万人台を突破。荒川登山口は早朝から1,000人以上の登山者で、山小屋のトイレには長い行列。山中で用を足す人が多く、森の中にトイレットペーパーが散乱し、小屋周辺の沢では、トイレから漏れたとみられる大腸菌も検出された。
2010年、それらの問題を解決すべき、携帯トイレの普及活が開始され、2014年より、屋久島国立公園オリジナル携帯トイレを現地にて発売。

携帯ブース

携帯トイレ回収BOX 淀川登山口

屋久島のフィールドでは

もともと、組取式トイレを使用していて、担ぎ下ろし費用が年間約2,000万円かかっていました。その後、バイオトイレ運用も行いましたが、オーバーユースにて処理が間に合わず、携帯トイレを取り入れ現在に至ります。また、携帯トイレ導入には、環境省主体で、携帯トイレネットワークつくりを鹿児島県、屋久島町、観光協会、ガイドショップ、ホテル、フェリー会社等と共に行った。

その他の導入実績紹介につきましては、HP内、環境コラムページにてご紹介予定です。

詳しくはこちら→

オリジナルのパッケージも全国に拡大しています!

オリジナルデザインのご当地携帯トイレもご提案させていただいております。
すでに南アルプス国立公園、早池峰山や屋久島など各地で採用されており、その土地山々や公園、自然、風土などの様々な魅力を伝えることで、環境保全への啓蒙活動に繋がる一助になっております。

各地ご採用についての詳細情報はこちら→

国立公園
オフィシャルパートナー

国立公園
オフィシャルパートナー

環境省と企業又は団体が相互に協力し、日本が世界に誇る国立公園の美しい景観と、国立公園に滞在する魅力を世界に向けて発信し、国内外からの国立公園利用者の拡大を図ることで、人々の自然環境の保全への理解を深めるとともに、国立公園の所在する地域の活性化につなげるためのパートナーシッププログラムです。

弊社では、2019年1月に環境省とのパートナーシップを締結し、各国立公園での携帯トイレ普及啓発活動の一環として、携帯トイレ普及パンフレット（4か国語ver:日・英・中・韓）や、当ロゴを使用した啓発のぼりを作成し、各地にて日本の魅力と環境保全の重要さを発信しています。

締結書

4ヶ国語対応パンフレット
（日・英・中・韓）

啓発のぼり